

YA新聞A

YA (ヤングアダルト) とは? 「大人になりつつある人」を表すアメリカで生まれた言葉。
YA コーナーでは、大人と子どもの間にいる中高生を中心とした世代に向けた本を集めています!

日常のミステリー

殺人事件がおきなくてもスリルを味わえる!

いつもの日常の中にふと現れる謎。秋の夜長、主人公たちと謎解きに挑んでみませんか? 読んだあと、何となく優しい気持ちになれるミステリーを集めました。

『夏休みルーム』



はやみねかおる / 著
しきみ / 画
朝日新聞出版 (2021.7)
請求記号: 913/A

「夏休みルーム」というSNSの仮想空間で最後の夏休みを満喫することになったぼくたち。現実の世界では進学塾に通う受験生。楽しいはずのルームで次々と起こる事件。二転三転する事態、予想もつかない結末が待っている! 前作『奇譚ルーム』の続編ですがこの一冊でも楽しめます。

★ 推し作家 児童コーナー

『レジまでの推理 本屋さんの名探偵』



似鳥鶏 / 著
光文社 (2016.1)
請求記号: 913.6/2

あまり仕事をしないけれど推理がさえる名物店長と、本を愛するバイト店員たちが、店内やお客さんの謎に挑みます。書店の業務や経営の厳しい現実面も描かれ、読むと町の本屋さんを応援したくなってしまいます。

一般開架

『桜坂は罪をかかえる KZ' Deep File』



藤本ひとみ / 著
講談社 (2016.10)
請求記号: 9137

人気シリーズ「探偵チームKZ 事件ノート」の番外編。突然修道院に入ると言い残し失踪した友達を追いかけて、北海道までたどり着いた二人の中学生。本当の救済とは何か。それぞれに悩みを抱えながら三人が見つけた答えとは何か。

児童コーナー

★ 推し作家 ひさびさの続巻!

『巴里マカロンの謎』



米澤穂信 / 著
東京創元社 (2020.1)
請求記号: B/G3
(文庫緑ラベル)

日々「心穏やかに無害で易きに流れる、誰にも迷惑をかけない小市民」を目指し、愛するスイーツを静かに楽しむ高校生の小佐内さんと小鳩君。そう言いながら、ちょっとした事件に首をつっこんでは名推理で解決する、穏やかミステリー短編集。

一般開架

『過去からの手紙』



岸田るり子 / 著
理論社 (2008.2)
請求記号: 913#

合宿から帰ってきたら、謎の手紙を残して母がいなくなっていた。数日後、自ら帰ってきた母は記憶をなくしていた。手紙の謎、不可解な母の行動、失った5日間の記憶など気になることが頭を離れない。幼なじみを巻き込んで、ひとつひとつ謎を探っていきます。

YAコーナー